

平成30年度

子どもたちとつくる「やさしいまち伊勢市」

支援事業 取組紹介

(東大淀小学校)

①栽培・花づくり活動

春と秋の年2回、新学期や運動会にあわせて、学校で種から育てた苗を校内の花壇に定植し花いっぱい为学校づくりを進めています。美化委員会の他、有志の子どもたちの自発的な活動である「くすのき活動」によって、そのときそのときで参加する子どもたちが増えたり入れ替わったりしながら、肥料やりや草取り、土づくりなどに積極的に取り組んでいます。

また各学年の学級園では季節にあわせた野菜や花を栽培し、小さな種から命が育っていく不思議におどろいたり、収穫した野菜を調理しておいしく味わう経験を楽しんだりしています。さらに11月には、シーズン終わりのマリーゴールドの花を使って、3年生が草木染めを経験しました。



②米作り・防災学習

米作りについては5年生が総合的な学習の時間において取り組んでいます。これまでは「田植え」と「稲刈り」の体験活動が主でしたが、今年度は「東大淀の米作り 米の果てまでイッテQ」をテーマとして1年間、田植えや稲刈りはもとより、いろいろな方面から地域の産業・課題としての米作りにアプローチしていきました。

11月・12月には米作りに従事する地域のお年寄りを招いて、米作りについての疑問に答えてもらったり、苦労や工夫、思いなどについて聞き取ったりする授業を実施しました。

(児童の感想)

- ・米作りには様々な課題や悩みがあって、それを改善するためにたくさんの工夫をしていたので、おどろいた。農家の高齢化は深刻で、とても厳しい現状なんだと思った。
- ・農業の後継者が少なくなってきた中で暑くても米作りをがんばっていることに感動した。

1月には収穫したもち米を使ってもちつき体験を行いました。地元のまちづくり協議会との連携による「スポーツ・フェスタ」の中で、5年生の担当として毎年取り組んでいる活動です。前日の米かしから当日のもちつき、もち丸めまで、子どもたちは地域の人たちに教わりながら楽しく取り組みました。またできあがったあんこもちやきなこもちを来場者に勧めながら、いろいろな人との接し方を学ぶこともできました。

4年生は総合的な学習のテーマを「防災」として、安全安心な地域づくりについて1年間探究してきました。県教委より講師を迎え、地域の人たちの協力も得て防災タウンウォッチングを行い、調べたことをマップにまとめました。また、地域の防災コーディネーターから東大淀地域で取り組んでいる防災事業について教えてもらい、そこから自分たちにできることを考え実践していきました。本地域ではドローンを活用した救助の研究も進められています。タオルを振るとドローンによって見つけてもらいやすいことから、啓発タオルの開発にも取り組みました。地域の課題を自分たちのものとしてとらえ、体験から気づいたことを探究して実践に結びつけていくことで地域の一員としての自覚を育てることにつながったととらえています。



③環境学習

10月にはまちづくり協議会と連携し、全校で講師を迎えての環境学習に取り組んでいます。今年度は1・3・6年生では皇學館大学生物学ゼミの学生による授業、5年生では同じく皇學館大学講師による「エネルギー」の授業、2年生では校庭の葉っぱ集めとネイチャー・ゲーム4年生では「第3回くすのき学習」が行われました。豊富な講師陣による専門的な授業に、子どもたちは顔を輝かせて生き生きと取り組んでいました。また子どもたちにとっては、年齢の近いお兄さん・お姉さんによるふだんとちがったわくわく感のある授業であり、教職を志す大学生にとっても、スキルアップの機会となっています。この環境学習は毎年、学年に合わせた内容で継続的・系統的に行っています。



④「もんちゃん」との交流

地域の宅老所「もんちゃん」との交流は、3年生が総合的な学習の中で取り組んでいます。毎年3～4回の訪問を行っています。事前・事後の学習や活動も含めて継続的な交流が、子どもたちの学びの深まりにつながると考えています。

交流の内容については、これまでは「歌や演奏を披露する」「七夕かざりの作り方を教えてもらう」など、互いの得意なことで相手に喜んでもらうことを中心にしてきました。今年度は、子どもたちが利用者に質問し、その答えから利用者の思いを知り、願いを実現しようという形で取り組みを進めてきました。第1回・第2回の質問交流で出た「学校に行って英語の授業参観をしてみたい。給食も食べてみたい。」の声を子どもたちがぜひとも実現したいと考え、第3回の交流では、「もんちゃん」の利用者やスタッフが来校して、英語の授業参観を行い、給食をいっしょに食べることになりました。複数回の交流だからこそ、相手の思いや願いを知り、その気持ちに応えようと考え、話し合い、実践していくことができて、子どもたちの学びが深まりました。

当日は子どもたちが生き生きと英語を学ぶ様子を参観者が温かく見守り、学習に参加する場面もありました。その後の給食交流では、その日のメニューを子どもたちがわかりやすく説明し、いろいろな話をしながら楽しく給食を食べていました。



⑤くすのき学習

子どもたちが校庭のクスノキとあらためて向き合い、クスノキの植物的特性や四季の変化を自然科学的に学習することをねらいとして、4年生対象に6回の「くすのき学習」を行いました。毎回、環境省のアクティブレングャー（自然保護官補佐）半田俊彦さんおよび、自然公園指導員・星のソムリエの資格を有する宮本秀明さんを講師に迎え、校庭で実際にクスノキの枝や葉を手に取りながら、専門的な指導を受けました。

第1回5月春のクスノキ花の様子・背の高さ・幹周りの大きさ

第2回7月夏のクスノキにおい・葉の様子・クスノキに集まる生き物

第3回10月秋のクスノキ実、葉の様子と寿命

第4回12月冬のクスノキ葉（常緑樹）の様子・クスノキの仲間

第5回1月まとめくすのきさんを守るためにできること

第6回2月クスノキと冬の夜空冬の星座・星の動き・くすのきさんを巡る星



子どもたちは今まで知っているようで知らなかった校庭のクスノキの特性や四季の変化をあらためて知り、そのことを校内外のいろいろな人に伝えたいと考えるようになりました。話し合いの結果、自分たちが学んだことを楽しく知ってもらうために、導入されたタブレットを活用して、三択クイズで発信することにしました。出来上がったクイズは3年生のときに交流した「もんちゃん」の通所者やスタッフに出題し、さらにかかわりを深めました。

(四郷小学校)

① 4月26日・8月27日 米づくり体験(田植え・稲刈り)

5年生が地域の方の田んぼでこめづくり体験をさせていただきました。地域の方にも手伝っていただきました。田植えや稲刈りをはじめ日常の世話などこめづくりにかかわる様々な仕事を学ぶことができました。



② 6月19日・12月11日 地域の方とともに栽培活動

園芸委員が中心となり、地域の方に手伝っていただきながら、花づくりをしました。身近な自然を大切に、美しい学校づくりをすることができました。

③ 6月22日 地域に伝わる食「てっぽ焼き」づくり

1年生が地域の方とともに、てっぽ焼きづくり(はっばの収穫含む)をしました。地域に受け継がれている食文化に触れることができました。



③ 7月6日 1年生バスの乗り方教室

三重交通伊勢営業所と伊勢市役所交通政策課の方を講師に、1年生が生活科の時間に、バスの乗り方教室を行っていただきました。本物の路線バス用車両を学校の敷地内に配車してもらい、バスの乗り方や交通安全についての説明を聞いた後、実際にバス車両に乗って体験乗車を行いました。



④ 9月18日・10月9日・2月12日 地域の方をゲストティチャーにした茶道教室

2年生が地域の方を講師にお迎えし、茶道教室を実施し日本の伝統文化に触れることができました。茶の礼儀作法を学ぶ中で、相手への思いやりや感謝の気持ちの大切さも教えていただき、文化祭ではお茶会を開催し、他学年の児童や保護者・地域の方をもてなす予定です。



⑤ 9月23日 地域の方と青空のもと「運動会」

地域の方と青空のもと、「運動会」でいい汗を流しました。学校運動会と町民運動会がいっしょになっての開催ですが、児童は日頃の練習の成果を活かし一生懸命競技に参加することができました。また、日頃お世話になっている地域の方とも、様々な種目を通して交流をはかることができ、楽しい秋の1日となりました。



⑥ 11月2日 社会見学を通しての人権学習

6年生が11月に人権学習の一環として、奈良県にある西光寺の清原隆宣さんのお話を聞かせていただきました。「自分のことだけでなく、仲間、まわりの人たちも大切に」「間違っただけのさしを見抜く力をつけて、たった一度の人生を大切に生きてほしい」などのお話をさせていただきました。



⑦ 11月10日 地域の方をお招きしての「文化祭」

「学習の成果を発表しあったり、演劇や合唱を鑑賞したりする活動を通して、学習への意欲や芸術への関心を高め、情操を育み、豊かな人間性を育てる」という目的のもと開催した「文化祭」に、日頃からお世話になっている地域の皆様を招待しました。



⑧ 1月26日 地域の方を招いての「ふれあい餅つき大会」

土曜授業日に体育館で、学校安全ボランティアの方や、学習を進める中でお世話になった地域の方々を招いて、「ふれあい餅つき大会」を行いました。5・6年生の児童が、地域の方や在校生をもてなし、参加者約220名という、とても盛大な会となりました。

